

ASIAGAP/JGAP 指導員現地研修の概要

JGAP 指導員現地研修の目的

研修の目的は以下の 4 点です。

- ① GAP の考え方、仕組み、内容を復習する。
- ② ASIAGAP/JGAP 認証農場で、農場の取組状況を学ぶ。
- ③ 指導方法を学ぶ。
- ④ 指導員の資格を更新する。

JGAP 指導員現地研修<青果・穀物 および 茶>内容

研修内容は以下の通りです。

- ・ ASIAGAP/JGAP の概要について
- ・ 農場の紹介
- ・ GAP への取り組み (ASIAGAP/JGAP 導入のきっかけ・苦労した点・良かった点)
- ・ 実際に農産物取扱い施設や農場を回り、具体的な取り組み方を学ぶ
(作業場、農薬保管庫、肥料保管場所、機械倉庫、ゴミ捨て場など)
- ・ 質疑応答
- ・ 受講者アンケートの回収

試験および修了合格の基準

- ・ ASIAGAP/JGAP 指導員現地研修には試験はありません。合格基準は以下の通りです。
 - 研修中の出席時間が全体の 90%を超えていること

合否の発表、再受講、再試験について

- ・ 合格した受講者には研修終了後に修了証をお渡しします。また、後日、日本 GAP 協会より指導員カードが送付されます。
- ・ 本研修では、再受講、再試験はありません。